

# ねれかて

豊田市立平井小学校  
校長だより  
令和5年10月24日

ねばりづよい子、れいぎ正しい子、からだをきたえる子、てをつなぐ子

## 前期が終わり 後期が始まりました

10月6日（金）に前期終業式が行われ、10日（火）より後期が始まりました。夏休みが終わり一か月以上経ちました。最近、暑さも少しやわらいで、平井小学校の児童も太陽の時間やふれあいの時間に元気に外で遊ぶことができるようになりました。

先日出席をした地域の祭礼（お祭り）の祭事の中では、6年生を中心として一生懸命に太鼓をたたいたり巫女舞を踊ったりと地域で活躍をする平井小学校のたくさんの子どもの姿が見られました。



11月にはやまびこフェスティバルが予定されています。昨年の6年生も一生懸命に踊る姿がかっこよかったですが、今年の「ソーラン節」も 昨年の6年生を超えるような 100%の声と踊りを期待しています。前期終業式の話の中で

は、子どもたちにみんなで幸せになるために学校でどのようなことに気をつけて生活したらよいと思いますかという問いを投げかけました。あいさつ等自分が大切に感じていることを話してくれる子どもの姿もありましたが、その際、アニメ「ハイキュー」に出てくる稲荷崎高校のキャプテンの北選手の言葉を紹介しました。それは、

「まいにち やんねん（やろう） ちゃんと やんねん（やろう）」という言葉です。

平井小学校の子どもたち一人一人が、毎日の授業やどんぐりごま大会ややまびこフェスティバルなどの行事もちゃんとやんねん（ちゃんとやろう）という気持ちで頑張してほしいこと、日々の頑張りが未来の自分を創ることを伝えました。

## 特色ある学校づくり「どんぐりごま大会」

10月10日に、6年生の児童が班をリードしながら、どんぐりごま大会の練習を行いました。どの児童も、学校のとなりのやまびこの森で拾ってきたどんぐりで作ったこまを一生懸命に回して、駒がまわっている時間を競うなどして真剣に練習を行いました。中には、50秒以上も回り続けるこまもありました。



令和5年度 平井小学校長だより

10月20日に行われたどんぐりごま大会当日では、1年生から6年生までの児童全員が、やまびこ班に分かれて「長生きごま」「ケンカごま」の競技を行いました。今年度は、60秒以上回るこまが見られるなど**新記録**が出ました。

それぞれの競技では、各班の代表児童である**6年生がタイマーを用いてストップウォッチ(iPad)で計りながら指示**を出し、円滑な会の運営に努めていました。今年度は3年ぶりに全校児童が集まり体育館で行うことができました。どの児童も楽しそうに平井小学校の特色である「どんぐりごま大会」を楽しんでいました。

このように、**平井小学校の伝統的な行事**を通して、1年生から6年生までの児童がやまびこ班で協力しながら活動する中で、他の学年の児童と遊ぶ楽しさを味わい、協力することの大切さや友達の思いやる心が育くまれます。



## 修学旅行で最高の思い出ができました(6年生)

修学旅行では、出発式から入館式、退館式、帰着式と児童が自分の言葉で他の児童の顔を見ながら話をしている姿に最高学年らしさを感じました。また、バスの中のメリハリのある態度や、清水寺や二条城、法隆寺等など様々な場面で臨機応変に行動できる姿にも驚かされました。まさに、6年生児童にとって修学旅行のスローガンである「**規律と楽しさのシーソーゲーム**」を制することができた2日間であったと思います。

具体的には、6年生の児童の行動の素早さが、旅行行程の時間の短縮につながり、結果として児童自身が旅館で十分に**仲間と語り合う時間を楽しむ**ことができました。また、担任の先生や旅館の代表の方が前に立つと自然に静かになり話を聞く姿勢ができることや、互いに「〇〇を意識して」などの声掛けができる児童の姿にも最高学年らしさがあふれていました。私が6年生の児童は素晴らしいなと感じたのは、部屋の整頓を始めた際の一場面です。子どもたちは自分の荷物が通路に広がらないように、きちんと整頓して部屋の清掃を進めていました。このような行動ができるのは、6年生の児童自身が修学旅行の前に「**自分たちで創る修学旅行のルール決め**、を実施していたからです。今回の修学旅行には、しおりに書かれていた言葉「**仲間と一緒に最高の思い出を創ろう**」の中の「最高の思い出」が確かにありました。今後も、下級生の目標となる6年生の姿を見せてくれると思います。



**保護者の皆様には修学旅行の準備・お迎え等でご協力いただきありがとうございました。**